

130人が靖国神社に参拝

みんなんで参拝国会議員の会

終戦の日

超党派の国会議員でつくる「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久参議院議員)は令和初となる八月十五日午前十一時、水落敏栄本会会長、佐藤正久・外務、城内実・環境、岡副大臣ら百三十人(代理含む)の衆参国会議員が靖国神社に揃って昇殿参拝した。なお、今年も関係の参拝はなかった。

終戦から七十四年、令和になって初めての「終戦記念日」の八月十五日は、昨年と同様に朝早くから九段坂界隈は靖国神社や千鳥ヶ淵墓苑に参る人、全国戦没者追悼式への参列者などで終日賑わった。特に靖国神社境



昇殿参拝に向かう「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」=8月15日、靖国神社で

内では、社頭に向かう参拝者の中に、若い家族連れや若者の参拝者が目につき、靖国神社への関心の高さが窺えた。午前十一時、「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」に所属する参拝者らは、尾辻会長を先頭に、本殿に進み、衆参

頭に進み、衆参国会議員百三十人(代理含む)が昇殿参拝した。このうち、安倍内閣からは佐藤正久外務副大臣や城内実環境副大臣、副大臣と政務官合わせて八人が参拝した。参拝後の記者会見で尾辻会長は「平成は一回も日本が戦争をすることなく、平和な時代を送ることができた。令和もそういう年号になれば大変ありがたいと思っている」と述べた。

樺太・千島慰霊碑

水落会長が現地を視察

日本遺族会が厚生労働省から委託を受け、日本政府がロシア連邦サハリン州スミルヌイフ地区ポベジノに建立した樺太・千島戦没者慰霊碑の維持管理状況を調査するたため、八月二十日から二十四日までの五日間、水落敏栄本会会長、他事務局職員一人を派遣した。一行は八月二十日、成田空港からユジノサハリ

の秋生田元(幹事長代行)、長、森田健作(千葉県知事)小泉進次郎(厚生労働部会長)らがそれぞれ参拝した。

青年部の参加者募集

日本遺族会がフイリピン戦跡慰霊巡拝を今年度(令和元年)に実施する。戦争の記憶を風化させないために、慰霊巡拝を体験し、遺族会後継者の育成を目的とした本事業への青年部(孫・ひ孫・甥・姪等)の参加を募集している。

▼実施時期 令和二年一月九日(水)から一月十三日(月)の四泊五日

▼実施地域 ルソン島マニラ及び東方山地、クラーク等、レイテ島オル

▼募集人員 40人(予定)

▼募集人員を上回った場合は選考となる。

▼参加資格 戦没者の孫、ひ孫、甥、姪等(青年部員及び遺族会後継者)

▼参加費用 十五万円程度

※後継者育成を目的とした事業であるため、本会から参加者に対し助成するので、参加費用は十

田空港からユジノサハリンスクに到着。翌二十一日、小西克己在ユジノサハリンスク日本国総領事館副領事の同行を得て慰霊碑調査に向かった。

二十二日、慰霊碑の維持管理を担うスミルヌイフ市役所を表敬、ペロババ市長らと慰霊碑維持管理について意見交換した。

その後、ポベジノ村にある慰霊碑に向かい調査を実施。毎年積雪の影響を受け慰霊碑の床面が傷んでいたが、今年は事前

英霊にこたえる会主催の「第四十四回全国戦没者慰霊大祭」が八月十五日、午前九時から東京・靖国神社拝殿で肅行された。大祭には水落敏栄本会会長(参議院議員)をはじめ自衛隊の統合、陸上・海上・航空幕僚長(各長理)、都道府県本部、中央参加団体など約三百五十人が参列した。拓殖大学吹奏楽部の演奏に合わせ全員で国歌斉唱ののち、修成、麒麟、斎主の祝詞奏上、続いて寺島泰三会長が祭文を奏上した。

英霊にこたえる会主催の「第四十四回全国戦没者慰霊大祭」が八月十五日、午前九時から東京・靖国神社拝殿で肅行された。大祭には水落敏栄本会会長(参議院議員)をはじめ自衛隊の統合、陸上・海上・航空幕僚長(各長理)、都道府県本部、中央参加団体など約三百五十人が参列した。拓殖大学吹奏楽部の演奏に合わせ全員で国歌斉唱ののち、修成、麒麟、斎主の祝詞奏上、続いて寺島泰三会長が祭文を奏上した。

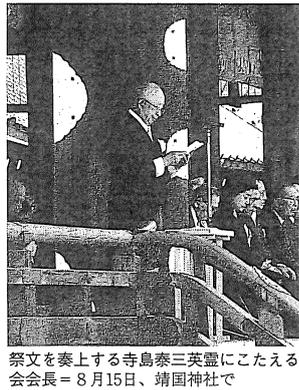
三会長が祭文を奏上した。寺島会長は祭文中で、平成の御代において天皇陛下の同神社御親拝が叶わなかったことや、遺族の高齢化、国会議員の参拝が低調である等、述べた。

最後に献楽ののち参列者全員が本殿に進み、玉串を捧げ拝礼した。

また同日、午前十三時十分からは、英霊にこたえる会と日本会議(田久保忠衛会長、共催)の「第三十三回戦没者追悼中央

碑の維持管理を要請した。ユジノサハリンスクに戻った調査団は二十三日午後、サハリン州政府文化局を訪れ、平野隆一在ユジノサハリンスク日本国総領事同席のもと、ニコリナ文化・公文書副大臣らと会談を行った。水落会長から「今後も慰霊碑の管理や、戦没日本人の遺骨の収集にサハリン州政府の支援願いたい」と要請した。

同夜には、樺太・千島戦没者慰霊碑を建設する



祭文を奏上する寺島泰三英霊にこたえる会会長=8月15日、靖国神社で

国民集会・総理の靖国参拝の継続を「靖国神社参道の特設テントで開催され、約千五百人が参加した。

集会は、国家斉唱、靖国神社拝礼、「終戦の詔書」(玉音放送)の拝聴に続き、主催者を代表して寺島会長と田久保会長がそれぞれ挨拶した。天皇陛下のお言葉を拝聴した。

みんなんで参拝 衆参国会議員

令和元年八月十五日、「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した百三十人(代理含む)の衆・参議員は次のとおり。

(党派別 敬称略)

議員本人参拝

▼衆議院

高島修一、田畑裕明、田

石川昭政、石原宏高、衛藤正士郎、大串正樹、大西英男、奥野信亮、小倉将信、梶山弘志、加藤寛治、城内実、岸信夫、櫻田義孝、左藤章、杉田水脈、高市早苗、高木啓

▼参議院

丸山穂高

▼衆議院

赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島謙、太田房

江、尾辻秀久、佐藤正久、長尾敬、長坂康正、中谷元、野中厚、平沢勝栄、古屋圭司、堀内詔三、古川裕巳、築和生、山口俊一、山本から国民を守る党

▼参議院

丸山穂高

▼衆議院

赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島謙、太田房

田中和徳、棚橋泰文、津島淳、土屋品子、渡邊紀三朗、富樫博之、永岡桂子、中曾根康隆、中谷真一、西田昭二、西村明宏、西村康稔、根本幸典、葉信秋、関口昌一、滝沢求、中西拓介、馬場成志、福岡寛隆、舞立昇治、牧野たかお、三宅伸吾、山崎正昭、山本順三

▼参議院

青木一彦

▼衆議院

青木一彦



ペロババ市長らと会談する水落敏栄会長(左2人目)=8月22日、スミルヌイフ市庁舎で

▼第4回「今後の遺族会を考える特別委員会」

9月4日、今後の財政、組織、処遇のあり方について。

▼第4回「今後の遺族会を考える特別委員会」

好業 友事 旧満州、旧ソ連を實施 靈善 慰親 亡き父の戦没地等巡る

日本遺族会主催の令和元年年度「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」が始まった。八月二日に旧満州、同日旧ソ連がそれぞれ旅立った。同事業は、各戦域を訪れ亡き父等の戦没地を巡り慰霊追悼を行うとともに、植林活動や病院等を訪問し、現地の方々と友好親善を深めていくことを目的としている。



積年の想いを亡き父に語りかける団員
= 8月5日、ウランホトで

旧満州 日中友好訪問団・東北地区(総括団長・國政隆 昭本会常務理事、全国の遺児代表十七人)は八月一日、東京・靖国神社内の靖国会館に集合し結団式を行い、翌二日、羽田空港を出発し北京に向かった。到着後、二班に分かれA班はハイラル、アロン

の靖国会館に集合し結団式を行い、翌二日、羽田空港を出発し北京に向かった。到着後、二班に分かれA班はハイラル、アロン



身障者施設を訪問し、車椅子を寄贈
= 8月25日、ビロビジャンで

市郊外の青年苗圃にて植林活動をし、訪問団のもう一つの目的である環境整備に努めた。九日夜には、在瀋陽日本国領事館代表、遼寧省

青年連合会常務委員の幹部らを迎えて、懇談会を開催し現地の関係者と意見交換を図るとともに、友好を深めた。全日程を終了した一行は所期の目的を果たし、それぞれ思いを胸に秘め、十日帰国した。

池田征司本会監事を総括団長とする旧ソ連慰霊友好親善訪問団は八月十九日、全国の遺児代表十

一人が東京の靖国会館で結団式を行い、翌二十日シベリア抑留で亡くなった父の慰霊のため、ロシア

アのハバロフスクを経由し、それぞれ縁の地へ向かい第一歩を印した。A班は、ハバロフスク

市南方のビギン、コムソリスクと同期の陸路送別の地クルスコエ村、アムール州境近くのクリドールの埋葬地跡でそれぞれ慰霊祭を行い、亡き父への思いを語りかけるとともに、懇々に霊を弔った。

B班は、チタラの第二十四収容所ノヴォヤク埋葬地跡、同収容所カリスカヤ病院跡、インカで

亡き父の冥福を祈った。現地での方々と友好親善を深めていくことを目的としている。

亡き父の冥福を祈った。現地での方々と友好親善を深めていくことを目的としている。

亡き父の冥福を祈った。現地での方々と友好親善を深めていくことを目的としている。

亡き父の冥福を祈った。現地での方々と友好親善を深めていくことを目的としている。

亡き父の冥福を祈った。現地での方々と友好親善を深めていくことを目的としている。

亡き父の冥福を祈った。現地での方々と友好親善を深めていくことを目的としている。

亡き父の冥福を祈った。現地での方々と友好親善を深めていくことを目的としている。

遺児の参加者募集 慰霊友好親善事業

募集要項は以下のとおり。
▼時期及び地域 実施概要参照
▼参加費 10万円 ※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所からの交通機関はご自身の手配になる。また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続手

料等は個人負担となる。
▼参加資格 戦没者の遺児。平成三十年年度参加者を除き、複数回の応募が出来る。
▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目全てに記入を要するの

実施概要

| 実施地域 | 実施時期 | 募集人員 | 申込締切 |
|-----------------|--------------------|------|-------------|
| 1 マリアナ諸島 | 令和元年 11月20日~11月26日 | 40人 | 令和元年 9月20日 |
| 2 ミャンマー | 令和元年 12月13日~12月21日 | 60人 | 令和元年 10月11日 |
| 3 台湾・パシフィック海峽 | 令和2年 2月3日~2月9日 | 30人 | 令和元年 12月3日 |
| 4 ビスマルク諸島 | 令和2年 2月12日~2月19日 | 40人 | 令和元年 12月12日 |
| 5 マーシャル・ギルバート諸島 | 令和2年 3月7日~3月15日 | 40人 | 令和元年 11月7日 |
| 6 フィリピン(2次) | 令和2年 3月13日~3月20日 | 120人 | 令和2年 1月14日 |
| 7 中国 | 令和2年 3月23日~3月31日 | 80人 | 令和2年 1月23日 |

特定地域

| 実施地域 | 実施時期 | 募集人員 | 申込締切 |
|------------|------------------|------|-------------|
| 1 西部ニューギニア | 令和2年 1月17日~1月26日 | 36人 | 令和元年 11月18日 |
| 2 東部ニューギニア | 令和2年 2月12日~2月19日 | 36人 | 令和元年 12月12日 |
| 3 ミャンマー | 令和2年 2月25日~3月4日 | 36人 | 令和元年 12月23日 |

本会への賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願

日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族援護

旧ソ連から19柱奉還

日本戦没者遺骨収集推進協会は旧ソ連地域、硫黄島(第一回)遺骨収集、硫黄島掘削立会、マリアナ諸島現地調査を相次いで実施し、本会はその

遺骨の現地調査も実施 骨収集ハバロフスク地方

第一次派遣は、七月十二日から八月六日の期間

硫黄島では、七月二十三日から八月五日まで遺骨

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報

は「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。

日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照され

ば、本会にお問い合わせください。

マリアナ諸島では、現地調査第三次派遣を八月二十日から三十一日の間、サイパン島において実施した。調査では、残存遺骨情報を基に、現地調査員と調整を行い、現地のマツビヤや中部のキヤランカノア等で遺骨情報

の掘削調査に立会した。

マリアナ諸島では、現地調査第三次派遣を八月二十日から三十一日の間、サイパン島において実施した。調査では、残存遺骨情報を基に、現地調査員と調整を行い、現地のマツビヤや中部のキヤランカノア等で遺骨情報

の掘削調査に立会した。

マリアナ諸島では、現地調査第三次派遣を八月二十日から三十一日の間、サイパン島において実施した。調査では、残存遺骨情報を基に、現地調査員と調整を行い、現地のマツビヤや中部のキヤランカノア等で遺骨情報

の掘削調査に立会した。

マリアナ諸島では、現地調査第三次派遣を八月二十日から三十一日の間、サイパン島において実施した。調査では、残存遺骨情報を基に、現地調査員と調整を行い、現地のマツビヤや中部のキヤランカノア等で遺骨情報



各派遣団から厚生労働省へ遺骨が引き渡される
= 8月7日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

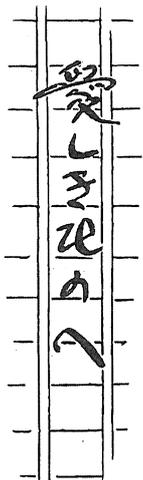
米国オレゴン州訪問

遺留品返還に伴う再委託契約

OBONソサエティ

平成三十年度から始まった「戦没者遺留品の返還に伴う調査」事業は、本年度も厚生労働省から本会に事業が委託された。それに伴い本事業の協力団体であるOBONソサエティに業務の一部を再委託する委託契約を締結するため、八月二十七日から三十一日の期間で水落敏栄会長（他事務局一人）はアメリカのオレゴン州を訪問した。

八月二十七日にオレゴン州ポートランドに到着。OBONソサエティとの協力体制等について説明した一行は、在ポートランド領事事務所、寺岡敬三領事を表敬訪問し、OBONソサエティを支援している有識者との会合に出席し、水落会長が日頃の支援に謝意を述べるとともに、「遺骨はおろか、遺品すら選んで送っていない」と、OBONソサエティの協力をなくしては成り立ちません」と挨拶した。



妻への手紙

陸軍衛生曹長 島根 正一
昭和十九年九月五日
アイリピン・パラワン島にて戦病死
埼玉原北足立郡戸塚村出身 二十九歳

近く南の昔烈なる決戦場に向かはんとす。父と初枝の顔に接し得なかつたことは、至極遺憾の極みなり。
然れども案することなし、初枝は依然として現在の様に、只管仕事に励み留守を譲つてくれ。子無き父の淋しさを察する時、只、初枝一人をどんなにか頼りに思つてゐるかしらん。
男児の本懐これに過ぐるものなし。必ずや立派な働きをして家名を挙げん。俺に万一の事ありたる時の賜り金、その他扶助料等は一切、初枝を受取人として指定しある。もし大東亜の礎とし散華したる時は「島根家」を受けついでやつてくれ。
別に他には申し上ぐる事なく、留守、後の事を一切頼む。
何時までも元気でやるやう、遙か南冥の空より祈る。
昭和十九年六月二十七日

初枝殿

島根 正一

（原文のまま）
【令和元年九月靖国神社社頭掲示
愛しきひめへ】

還に関する常設展示コーナーを視察し、博物館館長から、今後展示内容の拡充が予定されていると聞いた。
翌二十九日は、アストリア市内にOBONソサエティが借りているアーカイブセンター（記録保管所）で、OBONソサエティの理事が立ち会い、本年度の再委託契約書に水落会長、OBONソサエティ共同代表がサインした。



再委託契約が締結し、握手を交わす水落会長とジーク共同代表。右は敬子氏＝8月29日、オレゴン州アストリアで

それぞれ契約書に署名し、委託契約が締結した。また、水落会長は地元新聞社の取材を受け、OBONソサエティの活動に対する賛同から紹介が集まるよう紙面に依頼した。今回再委託契約が締結したことにより、OBONソサエティの活動がさらに充実し、戦没者遺族への遺留品返還がより加速することが期待される。

千葉県で日章旗返還

OBONソサエティ

本会が平成三十年度より厚生労働省の委託を受け実施している「戦没者遺留品の返還に伴う調査」事業で、戦没者の遺品の返還運動を推進しているOBONソサエティから本会に照会があった。米ニューヨーク州のデイン・パトラーさんの父が保管していた日章旗について持ち主が判明した。今回持ち主が判明した日章旗は、先の大戦で復員した木更津市の吉田一郎さんのもので、吉田さんはすでに他界しており、千葉県遺族会の調査により、吉田さんの遺族が神奈川県にいることが分かり、返還されることになった。



日章旗を持つ（左から）遺族の長谷川伊公子さんと高木至子さん、デイン・パトラーさんと娘のクリステンさん。8月9日、木更津市役所で

各都道府県遺族会で、実施された大会、研修会等は次のとおり。

- ▼山梨県 7月30日 令和元年度佐賀県遺族会研修会（130人）
- ▼秋田県 7月30日 4日 令和元年度秋田県遺族連合会戦没者遺児の会研修会（76人）
- ▼山梨県 7月9日 第45回女性部大会（180人）
- ▼徳島県 7月13日 第58回語り部事業（140人）

九段短歌

作品を
お寄せください。
なまひ

山郷で水平和を伝えゆく「わたつみ文庫」に学童集
う コーヒーはなんで今宵も昔いんだ学徒兵の手記読みを
れは 富士山 三森 一雄
赤紙を語る人を世となりて亡き母の筆日記の重さ 勝由
七月は父の祥月命日で南瓜蜜をせし母を偲ぶぬ 南相馬市 柴山 征子
長浜市 雨森 貴子
開戦の年に生まれし吾は父の顔知らぬまま喜寿を迎え
し 小諸市 塩川 篤子
泥道を漕ぎし荒野の迷途行ひたす母の手強く握りき
青森県 田中 恭子
軍服の父の写し紙巻若かりしみつむる吾は七十路を過ぐ

半世紀再び現地にきて慰霊平和な戦跡にたすみ安堵す
御朱印を靖国神社で先受けて令和の旅の安齋祈る
令和と称えし日々もうすらすき今し気になら中東情勢
八月十四日に靖国神社に参拝しました。翌日、武道館で行われた全国戦没者追悼式に参列の遺族を乗せた各県の大形バスが次々に到着し参拝されていました。参拝の後私は創立百五十年記念事業の「慰霊の庭」で、「さくら陶板」と「戦跡の石」を見ました。「さくら陶板」は父の陶工が丹精込めた作品だけに、それぞれ美しいものでした。「戦跡の石」は沖繩サイパン、等々、激戦地の石の展示ですが、真つ黒な硫黄島の石を見て、激戦地の島で涙を握り勇ましく戦った彼の地の英霊を偲び、特に心を打たれました。（選考者）

感霊巡拜の旅・国内外のご旅行は、小田急トラベルにご相談下さい

お問合せはこちらまで



株式会社小田急トラベル
外販営業部 首都圏営業センター
（観光庁長官登録旅行業365号）
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-28-12
TEL: 03-5302-3091
担当: 向井・日沖
（営業時間: 月～金 9:30～18:30 土日祝休み）



海外への慰霊巡拜や
戦跡めぐりをはじめ
国内外のご旅行の際は
団体から個人まで
弊社でご相談承ります。
【慰霊巡拜過去の手配実績】
☆トラック・パラオ諸島
☆マリアナ諸島
☆東部ニューギニア
☆ソロモン諸島
☆ホルネオ 他